

令和4年度第3回
CIREn評議会

日時：令和5年3月13日（月）14：00～15：00

形式：オンライン会議

CIREn事務局（佐賀県新エネルギー産業課、佐賀大学理工事務室）

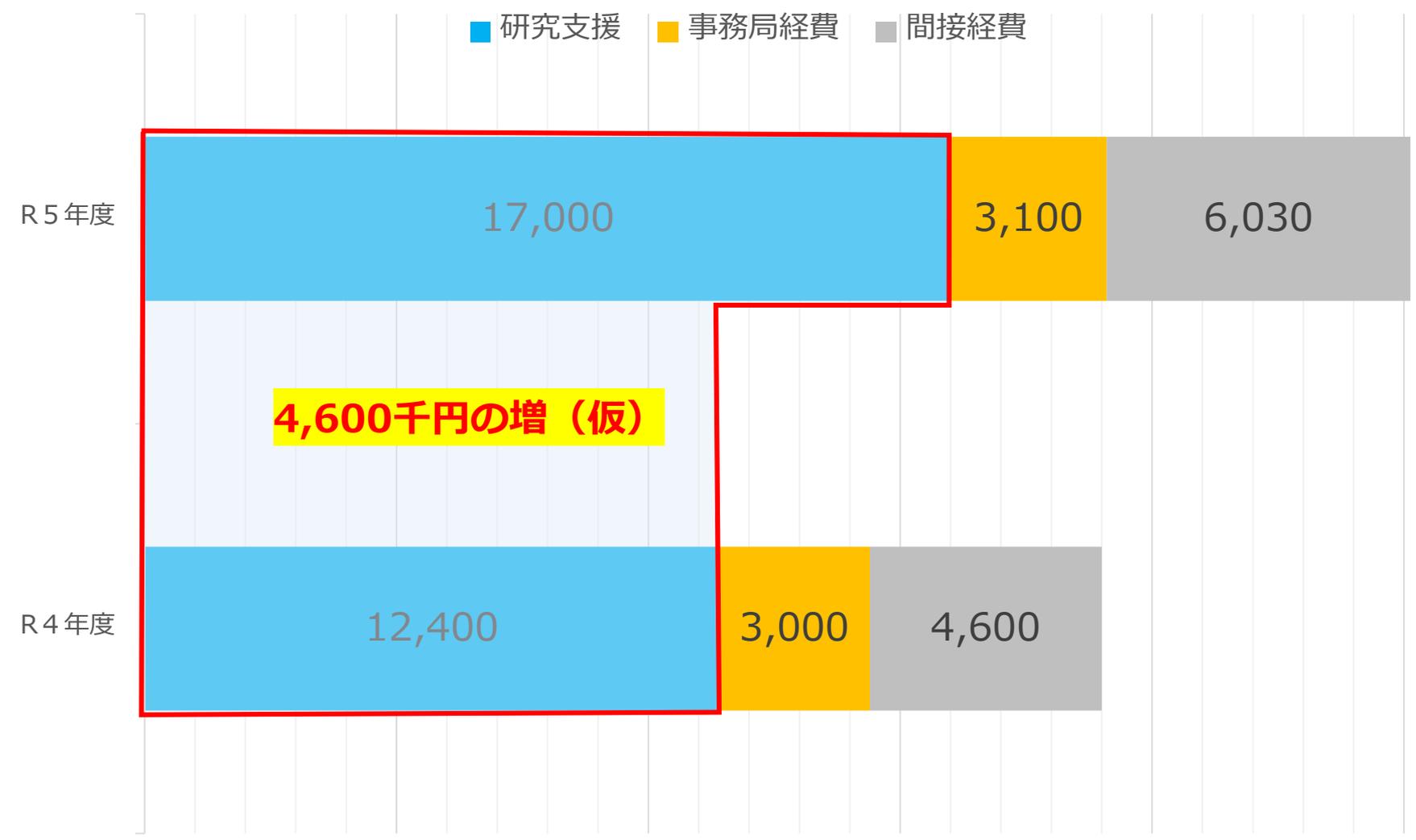
本日の議題

議事 1 **令和5年度CIRE n 予算について**

議事 2 **研究支援事業の公募について**

報告事項 **令和5年度研究支援事業の運用について**

R5年度CIREn事業予算



議事 1 令和5年度CIRE n 予算について

現状		
項目	予算額	内容等
直接経費		
研究支援事業	12,400	佐賀大学
交流活動	895	交流会・評議会等 開催費、その他諸 経費
情報収集活動	167	マッチング旅費
広報活動	38	HP維持管理
人件費	1,900	事務局職員
間接経費		
事務局運営費	4,600	事業管理運営費
計	20,000	

変更（仮）		
項目	予算額	内容等
直接経費		
研究支援事業	17,000	佐賀大学
交流活動	983	交流会・評議会等 開催費、その他諸 経費
情報収集活動	179	マッチング旅費
広報活動	38	HP維持管理
人件費	1,900	事務局職員
間接経費		
事務局運営費	6,030	事業管理運営費
計	26,130	

これまでの支援事業実績

- ・事前調査：上限100万円
- ・試作開発：上限400万円

単位：万円

分科会名	R1年度		R2年度		R3年度		R4年度	
	申請	採択	申請	採択	申請	採択	申請	採択
洋上風力発電	75	75	50	50	26	20	23	23
太陽光発電	25	25	100	100	100	70	16	10
海洋温度差発電関連技術	25	25	140	40	350	300	380	230
電気化学	100	100	100	100	100	30	50	50
遠隔監視	380	380	210	210	-	-	76	76
無線電力伝送	50	50	94	94	94	44	94	94
未利用熱利用空調システム	272	272	161	161	360	240	308	250
レアメタル回収	25	25	25	25	25	24	25	25
ものづくり	100	100	150	150	30	25	30	30
建築等のビッグデータ利活用	-	-	49	49	197	147	76	77
再エネ施設等メンテナンス	-	-	110	110	400	300	400	300
ヘルステック	-	-	-	-	-	-	126	75
水素燃料電池（他大学等）	-	-	-	-	-	-	100	90
計	1,052	1,052	1,189	1,089	1,682	1,200	1,705	1,330
	採択率	100%	採択率	92%	採択率	71%	採択率	78%

※万円未満の処理でズレあり
総額は正

【事務局案】

研究支援事業の増に併せ、コロナ禍で実施できなかった事業PRの予算を確保し、これまでの実績等を外部へ発信。認知向上を図る。

事業PR予算（新規）

予算：50万円～100万円

目的：事業PR（アウトプット）

対象：企業・一般の方

想定：ものスゴフェスタ

環境フェア（小城市） etc.



研究支援事業予算から
必要なPR予算を配分

論点

- ① 支援上限額の変更（案）
- ② 評価ポイントの追加

論点

①支援上限額の変更 (案)

現行

事業区分	内容	支援額
試作研究等事業	可能性調査、研究開発並びに試作品の製作及び評価等を行う事業 ※ 当該事業は、各種外部資金等を獲得して事業化に繋げることを目標とします。	上限 400万円
事前調査事業	研究テーマを設定するために必要な調査、基礎的研究等を行う事業	上限 100万円

変更 (案)

事業区分	内容	支援額
試作研究等事業	可能性調査、研究開発並びに試作品の製作及び評価等を行う事業 ※ 当該事業は、各種外部資金等を獲得して事業化に繋げることを目標とします。	上限 400万円
事前調査事業	研究テーマを設定するために必要な調査、基礎的研究等を行う事業	上限 100万円

上限500万円



- ・ 研究支援事業費が**増額**できる見込
- ・ 製品化に向けて**事業を加速**させる

論点

②評価ポイントの追加

CIREnが目指す姿の実現に向けて



現行

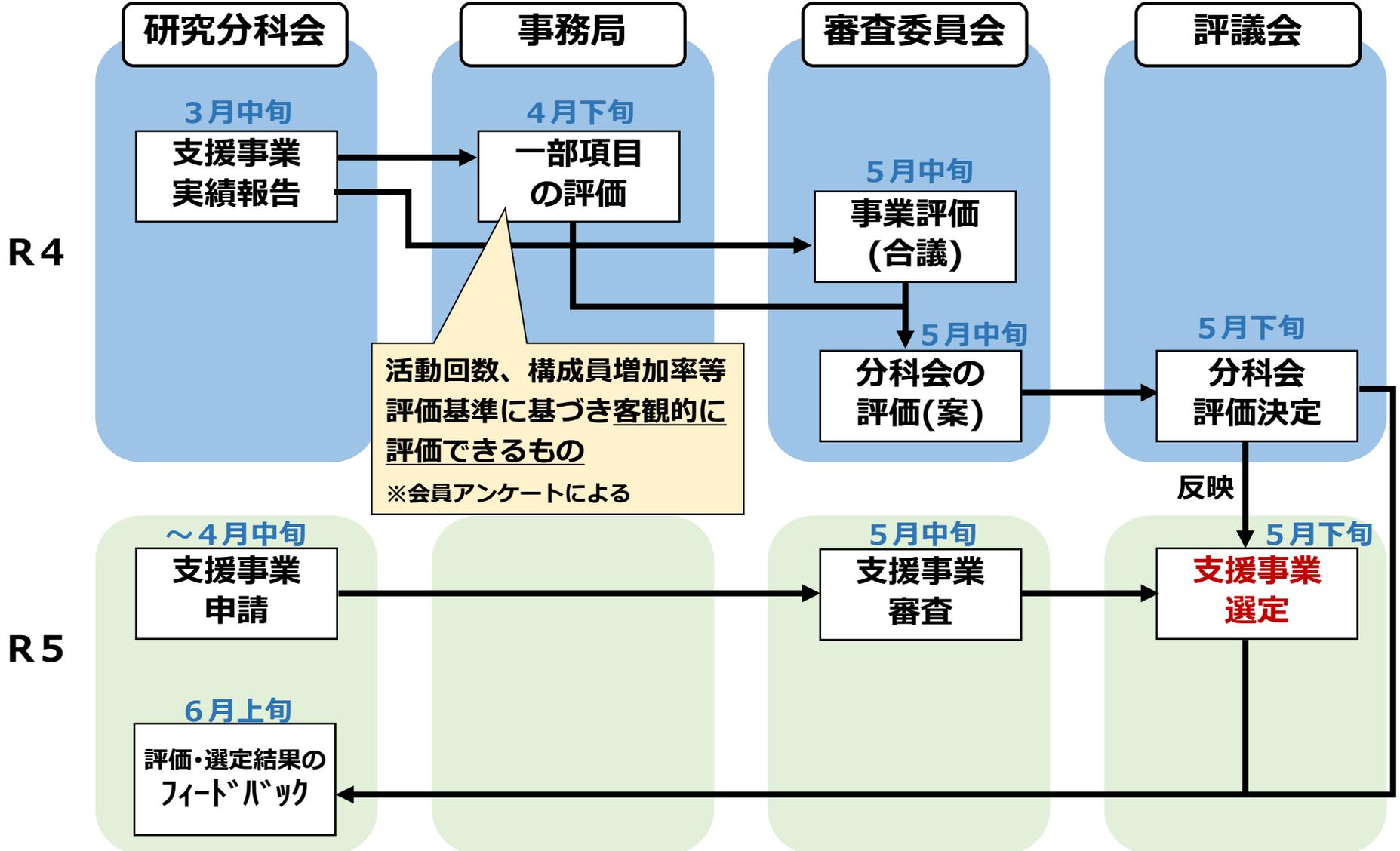
変更（案）

評価項目	評価内容
目的・必要性	解決すべき課題等に対して、申請内容の目的・必要性は十分か。
実施体制	・申請事業の内容に即した体制となっているか。 ・研究分科会構成員間での役割分担が想定されており、 <u>研究分科会構成員それぞれの取組度合いが高いか。</u>
独創性・先進性	・県内外や業界において独創性や先進性が見込まれるか。 ・競合・既存の技術等と比較して優位性が見込まれるか。
具体性・確実性	申請内容に具体性や確実性があるか。
地域への貢献可能性	申請内容が、 <u>県内企業の収益の機会向上に資するなど、地域に貢献する可能性があるか。</u>
研究成果の市場性	・研究成果が、幅広く普及・拡大する可能性があるか。 ・対象となる市場が具体的に想定されているか。
予算の内容・額の適正性	研究費の内容及び額が適正であるか。

評価項目	評価内容
目的・必要性	解決すべき課題等に対して、申請内容の目的・必要性は十分か。
実施体制	・申請事業の内容に即した体制となっているか。 ・研究分科会構成員間での役割分担が想定されており、 <u>研究分科会構成員それぞれの取組度合いが高いか。</u>
独創性・先進性	・県内外や業界において独創性や先進性が見込まれるか。 ・競合・既存の技術等と比較して優位性が見込まれるか。
具体性・確実性	申請内容に具体性や確実性があるか。
地域への貢献可能性	申請内容が、 <u>県内企業の収益の機会向上に資するなど、地域に貢献する可能性があるか。</u>
研究成果の市場性	・研究成果が、幅広く普及・拡大する可能性があるか。 ・対象となる市場が具体的に想定されているか。
予算の内容・額の適正性	研究費の内容及び額が適正であるか。

- ・ **製品化**を見据えた計画であるか。
- ・ **外部資金**（競争的資金）の獲得見込or実績があるか。

今後の予定



(参考) 来年度 (上半期) スケジュール (予定)

	区分	開催時期	内容
評議会	第1回	5月下旬頃	<ul style="list-style-type: none">・ R4 事業評価・ R4 事業報告・決算案の策定・ R5 事業計画・予算案の策定・ R5 研究支援事業の選定・ R5 研究分科会の設置
審査委員会	—	5月中旬頃	<ul style="list-style-type: none">・ R4 研究支援事業の評価・ R4 分科会評価案とりまとめ・ R5 研究支援事業申請事業の審査
総会	—	6月上旬頃	<ul style="list-style-type: none">・ R4 事業報告・決算・ R5 事業計画・予算 等
研究支援事業	募集	3月中旬～ 4月中旬	
	事業選定	6月上旬	事業期間 (9か月or <u>12か月</u>)

令和4年度第3回
CIREn評議会

本日は、お忙しい中、ありがとうございました。